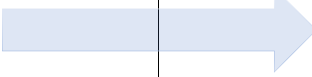
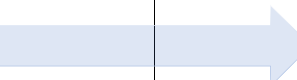


ワインを核とした地域活性化ビジョン進捗管理表(R6～R8)

柱	主要施策	取組内容	ビジョン 掲載年 度	具体的な取り組み内容		取組みを実現するためのアクション	R5	R6	R7	R8
				実施済みのもの	構想・検討段階のもの					
1.北斗産ワインのブ ランド化	A 市民意識の醸 成	①広報ほくとを通じた 市民周知	R5	・令和6年9月～令和7年5月の期間、隔 月でワイン関連記事を掲載。 ・道南ワインガーデンのイベント紹介を皮 切りにワイン販売店やふるさと納税に関 する情報、北斗市でワインが生産されて いる背景について発信。 ・記事についての感想の手紙が届く	・令和7年9月号では生産者の紹介と市民 に向けての収穫作業等のボランティアを募 集する。	・情報収集。 ・掲載案の作成。				
		②市民向けワイン勉強 会の開催	R5	・高齢者大学での講演。(R4実施) ・市政スクール及び市内団体によるヴィン ヤード視察	・R7.8月 高齢者大学オープンキャンパス 講演(サッポロビール 大屋委員) ・ワインイベント時に北斗産ワインの飲み比 べを楽しめる場と学習機会を提供。				継続	
		③教育現場への情報提 供	R5	・社会科副読本に掲載。 ・大野農業高校が作業実習を実施(DUE PUNTI) ・石別中が作業体験(サッポロビール)		・学校との協議を継続し、定着化を図る。		継続		
		④ワイン産地であるこ との表示	R5	・バス停名を変更。(ワイナリー入口)	・他自治体の取り組みの研究。					
		⑤市有地での醸造用ぶ どうの試験栽培・収穫 体験の実施検討	R5		・八郎沼体験農園の活用検討。	・庁内検討。				
	B 全国への情報 発信	⑥市ホームページにワ イン特設ページの開設	R5	・市HPに生産者紹介記事を掲載。	・コンテンツの充実。(北斗産ワインを楽し める市内飲食店情報の追加) ・HP閲覧者が興味を惹くようなバナー等 の工夫を施す。	・北斗産ワインを取り扱った実績のある飲 食店にホームページ掲載の許可、記事内 容の確認、写真提供を依頼する。			コンテンツの 追加 (随時)	バナー設置
		⑦PR素材の製作や広 告掲載	R5		・各種情報誌のほか、HP等のweb媒体を 中心に展開する。 ・インフルエンサーの活用。(収穫作業等 にくるワイン好きの方々に対し、SNSによる 拡散をお願いするのも一つの手か。) ・ロゴ、キャッチの検討	・テレビ等メディアへの情報提供。 ・生産者をはじめ委員の皆様の協力。			SNS掲載の 依頼	外部サイト検 討
	C 生産体制の確 立支援	⑧市役所内の支援体 制充実	R5	・市職員のボランティアによる収穫作業支 援。 R5年度 市職員11名 R6年度 市職員14名、渡島総合振興局 地域産業担当部長をはじめ道職員6名、 検討会議委員他市民6名が参加	・収穫作業ボランティアの募集フォームを 作成するなど、日程が決まり次第案内する 制度構築(広報記事に掲載予定)	・全職員に案内をかけ、興味がある職員の 輪を地道に広げていく。 ・市民へ向けて支援の輪拡大を図る。		支援継続		
		⑨醸造用ぶどう生産人 材の育成	R5	・大野農業高校からワイン事業者への就 職1名(torocco) ・大野農業高校生徒に向けた作業実習、 道南ワインアカデミー(振興局主催の勉強 会)によるセミナーの開催。	・新規就農者の受入体制の整備についても 本項目で検討する。	ビジョン修正案にワイン生産の担い手確 保 という項目を追加 ・新規就農希望者へのサポートを行う				受入体制検 討

ワインを核とした地域活性化ビジョン進捗管理表(R6～R8)

柱	主要施策	取組内容	ビジョン 掲載年 度	具体的な取り組み内容		取組みを実現するためのアクション	R5	R6	R7	R8	
				実施済みのもの	構想・検討段階のもの						
1.北斗産ワインのブランド化	C 生産体制の確立支援	⑩市内農産物のワインへの活用	R5	・大野農業高校生徒が生産したリンゴでシードルを製造、販売(DUE PUNTI) ・市特産品のマルメロ、大野農業高校で生産した梨でリキュール開発・販売(稲村屋)		・更なる活用の検討					
		⑪醸造用ぶどう生産ほ場の拡大	R5		・観音山付近など醸造用ぶどうにとって条件の良いほ場の情報が農業委員会から出た場合はワイン事業者に情報共有を図る。	・引き続き情報共有を実施。					
2.ワインを通じた交流人口の拡大	A 観光振興	⑫体験型観光商品の開発・販売	R5	ワイン関連ツアーの実施 ・観光庁 地域観光新発見事業を活用した道南いさりび鉄道ツアー(日本旅行) ・道南いさりび鉄道を活用したワインツアー(JTB) ・道南ワインツーリズム(JTB)	・ぶどう畑を含む自転車ツアーの実施(観光協会)→ほ場での事業者説明は負担が大きい。	・生産者以外にもワインやぶどうについて説明できる人材の育成			商品化？ 需要見極め		
		⑬農泊施設を受け皿とする来訪者へのサービス充実	R5			・農泊施設建設が中止になったため見直しする 「市内滞留時間を増加させるサービス充実の取り組み」に変更					
		⑭トラピスト修道院や石別地区との連携・協働	R5	・石別中学校生徒による作業体験(サッポロビール) ・大野農業高校生徒による作業実習(DUE PUNTI)	・観光協会のツアー商品(北斗プチ散歩)とヴィンヤード見学を組み合わせた商品の開発・実施。	・生産者にツアー中のほ場案内が可能か確認。 ⇒可能な場合は観光協会に商品造成の提案。				打診	
		⑮ワイン用ぶどうオーナー制度の導入	R5	・先行事例の制度確認(上富良野町 多田農園)	・新規就農者の資金調達策及び販売人脈確保策としての有用性を検討	・生産者への意向確認			検討		
		B イベント振興	⑯道南ワインガーデンの継続・拡充	R5	R5.6月 来場者900名 R6.10月 来場者700名 R7.6.28 グルメだよ全員集合に北斗産ワインを販売するブース設置 ワインとそれにあう食事の提供 300名	・北斗産ワインについてより深く知るイベントの開催検討	・幅広く集客するグルメイベントで認知度を上げる ・より深く北斗産ワインについて知ってもらう専門的なイベントの開催検討			事業者への声掛け	
	⑰文月・向野地区でのワインイベントの開催		R5	・農林課、稲村委員による先行事例の視察(仁木町 ワイリングウォークフェスNIKI)	・生産者への構想確認	現状では生産者が少なく生産者への負担が大きいため、生産者の拡大を優先					

ワインを核とした地域活性化ビジョン進捗管理表(R6～R8)

柱	主要施策	取組内容	ビジョン 掲載年 度	具体的な取り組み内容		取組みを実現するためのアクション	R5	R6	R7	R8
				実施済みのもの	構想・検討段階のもの					
3.地域経済への波及効果促進	A ワイン消費の促進	⑮ワイン関係事業者を対象とした勉強会の開催	R5		・ <u>市内飲食店に対し道南ワインアカデミーへの参加を促す。</u>	・商工会を通じて飲食店向け講座の周知を行う。				
									通知	
		⑯市内で販売・提供が可能な北斗産ワインの確保	R5	・現状、市内飲食店では数件の飲食店にて北斗産ワインが提供された実績がある。	・北斗産ワインを取り扱うことができる酒屋の拡充。(現状、一部の酒屋のみ実績あり) ・ <u>北斗産ワインを取り扱う飲食店の拡大。</u> (酒屋経由)	・酒屋と連携した、北斗産ワインを取り扱う飲食店の開拓。 ・生産者に市内の酒屋に製品を卸すにはどのようにすればいいのか確認。(製造量の問題、信頼関係の問題etc)				
		⑰市独自の認証店制度の創設	R5		・事業者が少ないため時期尚早。	北斗産ワインの取扱事業者拡大を優先				
	B 関連商品の開発	⑱ワインを使用した新商品開発	R5	・ <u>北斗市新商品開発等支援事業補助金※の周知。</u> ※北海道立工業技術センターを利用し、商品開発や農水産分物の高付加価値化を目指す市内事業者へ経費の一部を助成するもの	・観光客へのPR効果も高そうなソフトクリーム事業者等への声掛け。(ナイアガラソフト等にすれば、北斗産ワインは使わなくても問題ないか。)	・類似事項のため、「 <u>ワイン関連商品の開発</u> 」として一本化				
			⑳ワインに合う食品の開発	R5			・中小企業競争力向上事業補助金の活用。(ふるさと納税返礼品に登録することで2/3の補助(最大50万))			
			㉑残渣の活用	R5	・市内畜産農家への残渣提供(農楽)	・残渣の発生量調査 ・残渣の活用方法についての研究	・残渣の発生量、活用方法について確認 ・畜産飼料以外の活用方法について研究する。			
	C ふるさと納税への活用	㉒北斗産ワインを返礼品として活用	R5	・ <u>農楽 ばやばやぺていやん登録(R6 137本完売、R7 ふるさとチョイスでワイン特集として掲載44/96本販売)</u> ・ <u>DUE PUNTI シードル登録(さとふるで10本限定・8/18～)</u> ・ <u>マルメロ、梨リキュール登録開始(マルメロ100本、梨各50本登録)</u>	・ <u>サッポロビール 登録手続き中(シャルドネ300本、メルロー180本予定)</u>	・生産者や事業者への返礼品登録を継続して依頼する。(企画、商工、観光協会への協力を依頼。)				
			㉓ワイン用ぶどうオーナー制度を返礼品として活用	R5			・生産者の考えを確認。		依頼	継続